

かほ クイズ

都内に動物病院は何施設あるでしょうか？

- ①約1000施設
- ②約2000施設
- ③約3000施設

Vol. 39 No. 10 1月号
東京都家畜保健衛生所



令和7年12月24日

相模原市の野生いのししで豚熱陽性を確認

12月4日に神奈川県相模原市緑区で捕獲された野生いのししで豚熱陽性が確認されました。都内的一部地域は10km圏内に入りますが、この範囲に豚飼養農場はありません。都では、令和6年3月以降陽性は確認されていませんが、農場へ侵入するリスクは高まっています。**農場での飼養衛生管理の徹底、適切なワクチン接種をお願いします。**



捕獲地点から半径10km
(地図: 農水省HPより引用)

発生予防対策の重要ポイント

〈人・物・車両によるウイルスの持ち込み防止〉

- ①衛生管理区域、豚舎への出入りの際の**洗浄・消毒の徹底**
- ②衛生管理区域専用の衣服、靴の設置と使用の徹底
- ③人・物の**出入りの記録**

〈野生動物対策〉

- ①飼料保管所などへの**野生動物の排せつ物の混入防止**
- ②豚舎周囲の**清掃、整理・整頓**
- ③死亡豚は処理までの間、野生動物に荒らされないよう**適切に保管**



高病原性鳥インフルエンザ発生しています！

全国で高病原性鳥インフルエンザが発生しています。12月22日時点で野鳥では58事例、家きんでは8事例が確認されています。引き続き衛生管理を徹底し、**異状を確認した際にはすぐに当所までご連絡ください。** 農水省HPでも高病原性鳥インフルエンザの情報が確認できます。▶▶▶▶▶

事例数	発生日	発生場所	飼養羽数
6例目	12月2日	鳥取県米子市	約7.5万羽
7例目	12月16日	兵庫県姫路市	約24万羽
8例目	12月20日	岡山県津山市	約43万羽



令和7年度 鳥インフルエンザに関する情報について
(農水省HP)



アフリカ豚熱防疫演習を実施しました

12月3日に日の出町内の都有林にて都で初めてとなる野生いのししを対象としたアフリカ豚熱（ASF）防疫実地演習を実施しました。ASFウイルスは環境中に長期間存在し、感染力を持ち続けます。野生いのししでASF陽性が確認された場合、ウイルスのまん延防止のため、死亡いのししの速やかな対応が必要となります。

当演習では、猟友会や廃棄物処理業者などの関係者とともに、山林での模擬死体の搜索や収容作業、山林から出る際の靴底・車両の消毒など、実践的な手順を確認しました。演習を通して、新たな知見や課題も見つかりました。今後も継続して演習を実施していく、迅速なまん延防止措置に努めてまいります。



模擬死体の搜索の様子



模擬死体収容作業の様子



寒さ対策を実施して子牛の下痢症・呼吸器病を予防しましょう

寒さや極端な温度変化は牛にとってストレスの要因となります。特に子牛は成牛に比べて寒さの影響を受けやすいため、下痢症や呼吸器病の発生が多くなります。適切なワクチン接種、消毒の他、以下のような寒さ対策を実施し、病気を予防しましょう。

◎冷たい風が直接当たらないようにする

牛舎周りを点検して隙間風がないか、寒風が直接当たっていないかの確認をしましょう。防寒・防風対策用のジャケットを子牛に着用する方法などもあります。

◎敷料を厚めに敷く、こまめに交換する

敷料を厚く敷くことで、空気を含み高い保温効果が期待できます。また、濡れた敷料や冷たい床は子牛の体温低下につながります。こまめに交換しましょう。

◎湯たんぽやヒーターなどの暖房器具を使用する

◎適度な換気

冬は保温のために畜舎を閉め切りにしがちですが、適度な換気も必要です。呼吸器病予防のためにも新鮮な空気を取り入れましょう。



ジャケットを着た子牛

クイズの答え：②

このうち、産業動物（牛、豚、鶏）の動物病院は約80施設、小動物（犬、猫）・その他の動物病院は約1900施設あり、全国で最も多い数となっています。

